

国保税 なんと、2年間で3割もアップ...

2年連続で大幅値上げ!!



	20年度		21年度		22年度値上げ	
	医療保険分	後期支援分	医療保険分	後期支援分	医療保険分	後期支援分
所得割	基準所得額 x 5.6%	基準所得額 x 1.4%	基準所得額 x 6.7%	基準所得額 x 1.4%	基準所得額 x 7.3%	基準所得額 x 1.9%
一人あたり (均等割)	23,700 円	6,000 円	27,600 円	6,000 円	29,300 円	7,000 円
一世帯あたり (平等割)	19,300 円	4,700 円	23,900 円	4,700 円	26,200 円	5,400 円

例 給与収入
282万円の2人世帯(介護保険あり)
238,400円 ➡ 267,300円 ➡ 292,200円

一般財源から国保特別会計へ繰入して 高すぎる国民健康保険税を引き下げよ

国民健康保険税は、平成21年度約2割の引き上げをしなければならぬ。ところが新年度も平均1割引き上げ。2年連続の値上げです。日本共産党の小牧一美議員は3月議会8日の代表質問で、先の政府交渉の内容も紹介しながら、高すぎる国保税を引き下げよと、一般会計からの繰り入れを行うべきではないかと市長の見解を求めました。

小牧議員が問題点を指摘



小牧議員は「国保財政はいずれの自治体も危機的な状況。国保会計を維持・継続しようとするならば、国保税を引き上げざるを得ないと市はいうが、相次ぐ引き上げが、新たな滞納者を生む要因となっている。また、短期・資格証明証の発行などの制裁措置を講じても、危機的な状況は変わらない、というのが実態。今日の深刻な財政状況を引き起こして

いる原因は何か。また健全財政のためには、何が必要と考えているのか」と国保の今後のあり方について質問した。

これに対して市長は「国保財政の危機的状況の原因は、現下の経済情勢における所得の減少、医療技術の進展や医療費の増加などによるもの。収納対策と医療費の適正化が必要」と答弁。小牧議員は「危機にある国保の最大要因は国の補助金削減にあることを指摘しました。」

また、一般財源の繰り入れは自治体の裁量という政府の見解をどう受けとめるのか。高すぎる国保税を引き下げるために「一般会計

市の一般財源から国民健康保険特別会計に「繰り入れ」することについて
守山市はこれまで、国保加入者の負担を軽減するために一般会計から国保特別会計に繰り入れすることについて、「原則認められていない」としていましたが、小牧議員らが直接厚生労働省に見解を求めたところ、「国保は自治事務。繰り入れするかどうかは自治体の裁量の問題。政府が認めるか、認めないかというものではない」と明確に述べられました。

「値上げしないので…」市民の請願は否決

新日本婦人の会守山支部から「国保引き下げを求める」請願が出されました。「年金生活で、これ以上の国保の値上げは耐えられない」、「仕事が少なくなり、収入が減ったのに、税金は値上がり。やっていけない」など、多くの声が集まっています。たった3週間の署名期間に、737筆もの署名が寄せられましたが、議会本会議では、日本共産党の小牧一美議員のみ賛成。他党派の反対で否決となりました。

3月議会特集

主な議案に対する各党派議員の態度

は賛成、は反対

賛成	反対	政和会											創政会		ネットワーク未来(民主)			公明党		無				
		小牧一美	小原敬治	池田真二	田中国男	寺田武正	中島幸一	中野隆三	西村利次	菅井昌彦	森貴尉	藤木猛	赤井清司	高田正司	本城政良	富樫孝	奥野真弓	下村勲	山川明男	渋谷成子	大瀬洋子	広美照美	岩佐弘明	



日本共産党 小牧一美 守山市議会議員 2010年3月議会報告